

## 観光まちづくり アイデア次々に

吉野川市で講演

吉野川市の美郷商工会などは八日、同市山川町川東の阿波和紙伝統産業会館で、大阪府堺市観光部参事の岩井敏久さんを招いて講演会「発見・発掘 観光おもしろアイデア」を開いた。観光による同市の活性化策を探る「市観光まちづくり調査研究事業」の一環で、約三十人が参加した。

前アステイトくしま館長を務め、県内の観光事情に詳しい岩井さんは▽美郷のホタルを栈敷で見学できるようにする▽吉野川の砂州で砂のアートを作る▽川島城を貸し切りにして展示会などに利用してもらうーなどのアイデアを次々に披露。市内五つの温泉施設を「吉野川五湯」と名付けて売り出すネーミングや、インパクトのある写真を大

きく使うなど工夫を凝らしたパンフレット作りの大切さを訴えた。

さらに「阿波忌部氏や古事記にまつわる歴史など、吉野川市は素晴らしい素材を持っている。市民一人一人が勉強し、熱く語れるようになれば大きな力になる」とも話した。